

ファイルのアップロード

Flysystem

Laravelは、Flysystemパッケージでファイルシステムの強力な抽象化を提供しています。

Laravel Flysystemでは、ストレージを操作するための以下のドライバーが提供されています。

- ローカルファイルシステム
- FTP
- SFTP
- AmazonS3

ファイルストレージ

ファイルシステム設定ファイルは、「**config/filesystems.php**」にあります。

filesystems.php内で、すべてのディスク（ファイルシステム）を設定することができます。

サポートしている各ドライバーの設定例を設定ファイルに用意してくれているので、すぐにファイルシステムを利用することができます。

ファイルのアップロードフォルダの場所

ファイルをアップロードするフォルダは、「**public/storage**」内になります。

これらのファイルにWebからアクセスできるようにするには、**public/storage**から「**storage/app/public**」内に保存先が変わるため、**storage/app/public**へのシンボリックリンクを作成する必要があります。

シンボリックリンクの作成

artisanコマンドでシンボリックリンクを作成します。

```
php artisan storage:link
```



シンボリックリンクとは

OSのファイルシステムの機能の一つで、特定のファイルやディレクトリを指し示す別のファイルを作成し、それを通じて本体を参照できるようにする仕組みのこと。

シンボリックリンクを作成したら、assetヘルパを使用して**storage/app/public**内のファイルへのURLが作成できます。

```
'disks' => [  
    // FTPやSFTPのドライバー設定は自信で追加する必要があります。  
    'ftp' => [  
        'driver'    => 'ftp',  
        'host'      => '{ IP_Address }',  
        'username'  => '{ user_name }',  
        'password' => '{ password }',  
    ],  
],
```

```

        'local' => [
            'driver' => 'local',
            'root' => storage_path('app'),
        ],

        'public' => [
            'driver' => 'local',
            'root' => storage_path('app/public'),
            'url' => env('APP_URL').'/storage',
            'visibility' => 'public',
        ],

        's3' => [
            'driver' => 's3',
            'key' => env('AWS_ACCESS_KEY_ID'),
            'secret' => env('AWS_SECRET_ACCESS_KEY'),
            'region' => env('AWS_DEFAULT_REGION'),
            'bucket' => env('AWS_BUCKET'),
            'url' => env('AWS_URL'),
            'endpoint' => env('AWS_ENDPOINT'),
            'use_path_style_endpoint' => env('AWS_USE_PATH_STYLE_ENDPOINT', false),
        ],
    ],
],

```

ディスクインスタンスの取得

設定済みのディスクと対話するための機能は、Storageクラスが提供してくれます。

ファイルのアップロードには、Storageクラスのputメソッドを使用することができます。

putメソッドは、第1引数：アップロード先のパスを指定し、第2引数：アップロードされたファイルを指定し、戻り値：ファイルを保存したパスとなります。

```

<?php

namespace App\Http\Controllers;

use App\Http\Requests\Sample05Request;
use Illuminate\Http\Request;
use Illuminate\Support\Facades\Storage;

class Sample05Controller extends Controller
{
    public function index() {
        // 省略
    }

    public function post(Sample05Request $request) {

        $file = $request->file( "image_file" );

        $result = [];
        // 送信したファイル名の取得
        $result[ "name" ] = $file->getClientOriginalName();
        // アップロードされたファイルの保存
        $result[ "path" ] = Storage::disk( "public" )->put( "images", $file );
        // FTPでのファイルをアップロード
        //Storage::disk("ftp")->put( "public_html/laravel8/images/", $file );

        return view( "sample05", compact( "result" ) );
    }
}

```

ファイルアップデートのバリデーション

```

<?php

```

```

namespace App\Http\Requests;

use Illuminate\Foundation\Http\FormRequest;

class Kadai05Request extends FormRequest
{
    /**
     * Determine if the user is authorized to make this request.
     *
     * @return bool
     */
    public function authorize()
    {
        //省略
    }

    /**
     * Get the validation rules that apply to the request.
     *
     * @return array
     */
    public function rules()
    {
        return [
            // imageを指定することで、画像 (jpg、jpeg、png、bmp、gif、svg、webp) である必要となります。
            'image_file' => [ 'required', 'image', ]
        ];
    }

    public function messages() {
        // 省略
    }
}

```

Laravel 8ドキュメント - ファイルストレージ
<https://readouble.com/laravel/8.x/ja/filesystem.ht>